

婦人会報

令和七年
2月2025年
立教188年



天理教婦人会旭日支部

通巻548号

教祖140年祭へ向かう
三年千日仕上げの年



天理教婦人会
第107回
総会

すべ
総ての会員がおちばへ 人を誘っておちばへ

立教188年 / 2025年 4月19日 土

式典 午前 9時30分
本部中庭 南・東礼拝場前 西境内地

おつとめ 式典に引き続いて
記念行事 支部の集い

● 別席強調月間 ●

立教188年 / 2025年 3月1日 土 ▶ 4月30日 水

 天理教婦人会

最新情報はこちらで
ご確認ください



別席強調月間

立教188年（令和7年）3月1日（土）～4月30日（水）

別席を運ぶ際の準備・諸注意

- ・ 別席を運ぶ時は、「別席願」と「席札」を所属の教会から頂いて、教会順序を経て、本部の別席受付へ出してください。
- ・ 別席を運ぶに当たって、まず別席の誓いをさせていただきます。
- ・ 席札は別席を運ぶたびに必要ですから、なくさないよう満席になるまで大切に保管して下さい。
- ・ お誘いした別席者と一緒に、お話を聴くこともできます。各信者詰所に「傍聴願い」の願書がありますので、別席受付へ提出してください。

別席の運び方について

1. 別席は、満17歳になる月から運べます。
2. 別席を運ぶ人は、まず別席の誓いをしなければなりません。
3. 別席は、月に1席、9ヶ月（9席）運んで満席を原則とします。
4. いかなる場合も、運んだ席数だけ月を経なければ、次の席が運べません。
5. 9席目は、初席から9ヶ月目以降でなければ運べません。
6. 席札を紛失した場合は、運び直しとなります。

託児

別席場の北東にある天理託児所では、別席者や修養科生のお子さんをお預かりしています。

希望者は別席を運ぶ前に、直接、託児所へおいでください。

手話通訳

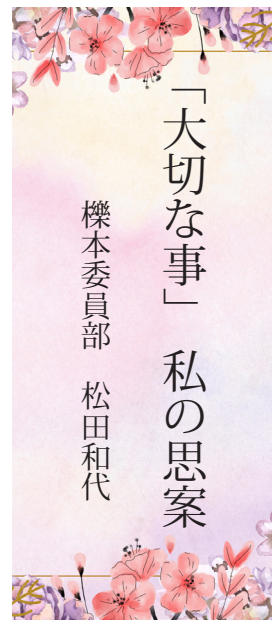
お問い合わせは、布教部福祉課（TEL=0743-63-1511 内線5321）まで。

通訳

通訳に関する依頼、お問い合わせは海外部翻訳課（TEL=0743-63-1511 内線5364・5365）まで。

なお、別席の栞、ならびに席札 願書は、各国語に翻訳されたものが用意されています。所属の信者詰所にお問い合わせください。





新しい年が明け、今この大切な旬に、さて自分はこれで良いのかなと自分を見つめ直しているところです。



教会に住まわせていただいている者であってもその環境は様々です。

信者様家庭においても同じことで、毎日与えられた自分の役割が、手に負えないほど忙しい方もありますし、時間がたつぷりあって、さて今日は何をしようかなと思つて過ごしておられる方もあります。

お仕事を持ち一生懸命働いておられる方もあれば、地域の御用や教会の御用に没頭できる方もある。人との出会いが少ない環境にある人、求めずとも大勢の人の中でたくさん関わりの持つて生きている人もあり

ます。ですから、環境によってにいがけ、おたすけの苦心も人様々であります。

何が良いというのではなく、それぞれの環境は、神様からの与えですから、決して人と比べることなく、大切なことは、いかに自分の心にしたすけ心があるか真実があるか、神様があるかということだと思います。また、たんのうの生き方が身について心が澄んでいるか、神様の思いが自分の心に素直にうつっているかということだと思います。



私の教会は地元の信者さんが多いので、物心ついた頃からの記憶では、有難いことに、朝5時頃、神殿掃除からの参拝に来られる方が代々と受け継がれて途絶えたことがないのです。誰よりも早く起きて玄関を開け調饌をしながら母はよく言っていました。

「こうして早くから来てくださる方々があるから自分たちは助けていただいてるんや。家族だけやったら甘えが出るで。自分たちは外にも出

ずに神殿に行けるけれど、こうしておいでくださる方は、雨の中も極寒の中でも暗闇の中でも、一旦外に出て教会まで来られるんや。ほんまにこの方々はご真実や。自分は真似が出来るか？教会家族に甘えがぶんように、私らは信者さんに助けていただいているのやで」と。

口癖のように親がそう言つて私たちを育てましたので、私たちもまた、それを伝えて子育てをしました。

朝勤め前の慌ただしい時間帯に、小学生になれば我が子を鬼のようにたたき起こして朝勤めに参拝させました。反抗期にもめげず、子供らとの戦さのような朝の起床は懐かしい思い出です。

今私は、同じ事を思い、同じ思いを息子や嫁に伝えております。



教会家族が揃つて、神殿掃除から始まる教会生活を共にできることは、自分たちの努力ではなくて、与えていただいた環境のお陰でしかないのです。お参りに行かせていただくのも、おさづけを取り次ぎに行つて喜

んでくださるのも、大教会のご用を
させていただくのも、これまた全て
代々築いて来てくださった信頼、親
の徳のお陰であります。

◇

ですから、教会の御用や信者さん
の事で忙しくさせていただいている
のも、全くこれは与えていただいて
いる環境のお陰であるということ
を忘れて、自分が一生懸命つとめて
いると勘違いしていないか、このと
ころは決して間違えてはいけない、
自分は何を成しているかと、自問自
答することを意識しなければと心が
けています。

そして、信仰は一名一人、教えの
思案の深め、用木としての心構えで
どこでもいつでもおいがけ、おた
すけが自然に身についた老人になる
ことを目指して歳を重ねていきたい
なあと思っています。

年齢と共にしなければならぬこ
とに対して処理する力がついていけ
ない場面も出てきて、周囲には迷惑
をかけていますが、おさづけの取り

次ぎや人様のお役にたてるご用は外
さずさせていただきたいと思ってい
ます。

◇

付け加えて申しますが、若い人た
ち、とくに教会後継者の子育てに信
仰を繋いでいくことがだんだんと難
しくなってきました。私は、子供た
ちを幼少期から親の手から離れるま
で、朝夕のお勤めに参拝させること
は、次代に繋ぐひとつの大事な力ギ
だと思っております。わかつてもわから
なくてもその意味を伝えて、神殿で
暴れたり泣いたりしてうるさくとも、
「すみません、すみません」と親が低
い心で謝りながら、気を遣いながら、
また時には子供を叱ったり褒めたり
しながら、思春期にも負けず、だん
だんと育てていく、うまくいかない
ことももちろんありますが、そのあ
きらめない苦心と信念が尊いと私は
思うのです。

◇

お言葉に
「危ないこと微かな理で救かるのは

日々の理という」

「にちにちに心つくしたものだねを
神がたしかにうけとりてある」

「にちくにすむしわかりしむねのう
ち せゑじんしたいみへてくるぞや」
と聞かせていただきます。

教会ならこそ、朝夕のお勤めが出
来て、ひとつの日々の理が積めると
いう環境をいただいているのですか
ら、感謝して子供と共に歩ませて
ただかねばもつたいない事です。

大人になれば、そうして育てられ
たことが必ず役にたち、大事な事だ
とわかります。礼儀も身につきます。
信者さんのご恩もわかります。

◇

差し迫ってきたこの旬に、自分の
成人とは、と考えました時、与えら
れる日々の御用は、環境から与えら
れるだけの事、それだけを成してい
るようではいけない、私は私として、
という成人への思いを持って届きま
せんが、歩ませていただきます。



立教百八十八年委員部長講習会（第五十二回）ご案内

日時 令和七年二月二十四日（月・祝）

午後一時 受付

一時十五分 開講

場所 旭日大教会

内容 支部長挨拶

教理勉強会グループワーク

対象者 委員部長

持ち物 ハッピー・筆記用具・作成したワークシート

※マスクを持参して下さい。

※参加申し込みは、二月十五日までに直属を通して総務または

大教会事務所までお申し込み下さい。また、代理の方が 出

席の場合は、直属を通してその旨をご報告下さい。

※やむを得ず、当日参加できない場合は、教理ワークシートを

二月十五日までに提出して下さい。

13:00	・ 受付	1階ロビー
13:15	・ 開講	神殿
	・ 支部長挨拶	
	・ 新委員部長任命	
	・ 司会より連絡	
13:30	・ 移動	
13:40	・ 教理勉強	1号館各部屋
	グループワーク	
	・ 各班まとめ	
15:15	・ 閉講	神殿

三月例会案内

日時 三月五日(水) 午前十時
場所 旭日大教会
内容 教祖祭
お願いつとめ
ておどり(後半下り)
周年ひのきしん
昼食

女子青年例会案内

日時 2月9日(日) 14時30分
場所 旭日大教会
内容 学びの時間、フリートーク

お知らせ

12月1日以降に27, 846円のバザー追加売り上げがございました。
この収益は、来年の記念祭への準備費用としてお供えさせていただきます。



三月例会役割

扨者	山崎さとえ	坂本みさ子
賛者	山本ひとみ	岩崎千鶴
指図方	山村 美恵	
地方		後半
笛		城久
ちゃんぽん		城久
拍子木		城久
太鼓		直轄
すり鉦		直轄
小鼓		直轄
琴		櫛本
三味線		櫛本
胡弓		櫛本

二月月次祭炊事当番

教会	十津川	西紀	旭道
係員	杉本かおり	松田 梅乃	

◇午前九時までにエプロン三角巾を持参の上お越し下さい。

二月月次祭託児ひのきしん当番

教会	戒場	
係員	美田 輝代	

◇午前九時より祭典終了までです。

日々に受け取る

さあ／＼何の事情、日々尽す理は、日々に
受け取る。

(おさしづ 明治24年2月6日)



発行日 令和七年二月五日

発行者 岡本道子

発行所 天理市田井庄町一二八
天理教婦人会旭日支部